

事業概要

1. あいとうふくしモール

- ・田園カフェこむぎ 薪工房木りん(障がい者支援施設)
カフェの運営、パン等の製造販売、パン講習会の開催、地域サロン活動や作品ギャラリーとして、会場提供など。
また、地元の木材を活用した工房を展開。
- ・ファームキッチン野菜花(福祉支援型農家レストラン)
地域の食材・人を生かし、郷土食の提供。食文化や暮らしの伝承のため、体験教室などを開催。
- ・結の家おぐら(高齢者福祉・介護支援施設)
デイサービスセンター、訪問看護ステーション、ケアプランセンター、ショートステイを併設し、地域活動の支援を実施。

2. 「エネルギー」自給の取組

- ・3施設の屋根に太陽光発電設備を設置。(34kw)
市民共同発電所組合として、1口10万円で63名から110口の会費を募り、売電益の2割をあいとうふくしモール運営委員会が、残りを会議所が発行する地域商品券として会員に配当。(H26配当実績 1口あたり1万円余り。)
- ・3施設に薪ストーブを設置。
地元で廃材(獣害対策や里山整備、間伐のために木を伐採)となる木材を活用したストーブを設置し、施設のエネルギーとして使用。(薪は無料で提供してもらい、薪の調達、薪割りなどは薪工房木りんにて実施。)

3. もったいないやりとり市の開催

- ・地域のなかで今まで隠れていたもの・気づかなかったものを掘り起こし、必要とするところへつなげる。
- ・子どもから高齢者まで、世代間交流を通じて、地域の遊びや知恵・技の伝承。

4. ほんなら堂(生活支援事業)

- ・暮らしや地域の困りごとを地域のサポーターが解決。(サポーター養成を実施し、人材育成にも取り組む。)

あいとうふくしモール(3事業所)



**田園カフェこむぎ
薪工房木りん**

障がい者の働き実践、
地域交流施設
・甘味処 ・パン工房 ・配食
・木工 ・もったいない市



ファームキッチン野菜花

福祉支援型農家レストラン
・レストラン
・配食、惣菜
・子育てサロン



結の家 おぐら

地域安心して暮らす
応援拠点施設(高齢者施設)
・デイサービス ・お泊まり
・訪問看護 ・在宅支援

自立した地域づくり

住み慣れた地域



支払い

仕事依頼

農産物販売

訪問看護・
デイサービス・
お泊り
依頼

食事の提供

配送
支払い

労働依頼

支払い

農産物販売

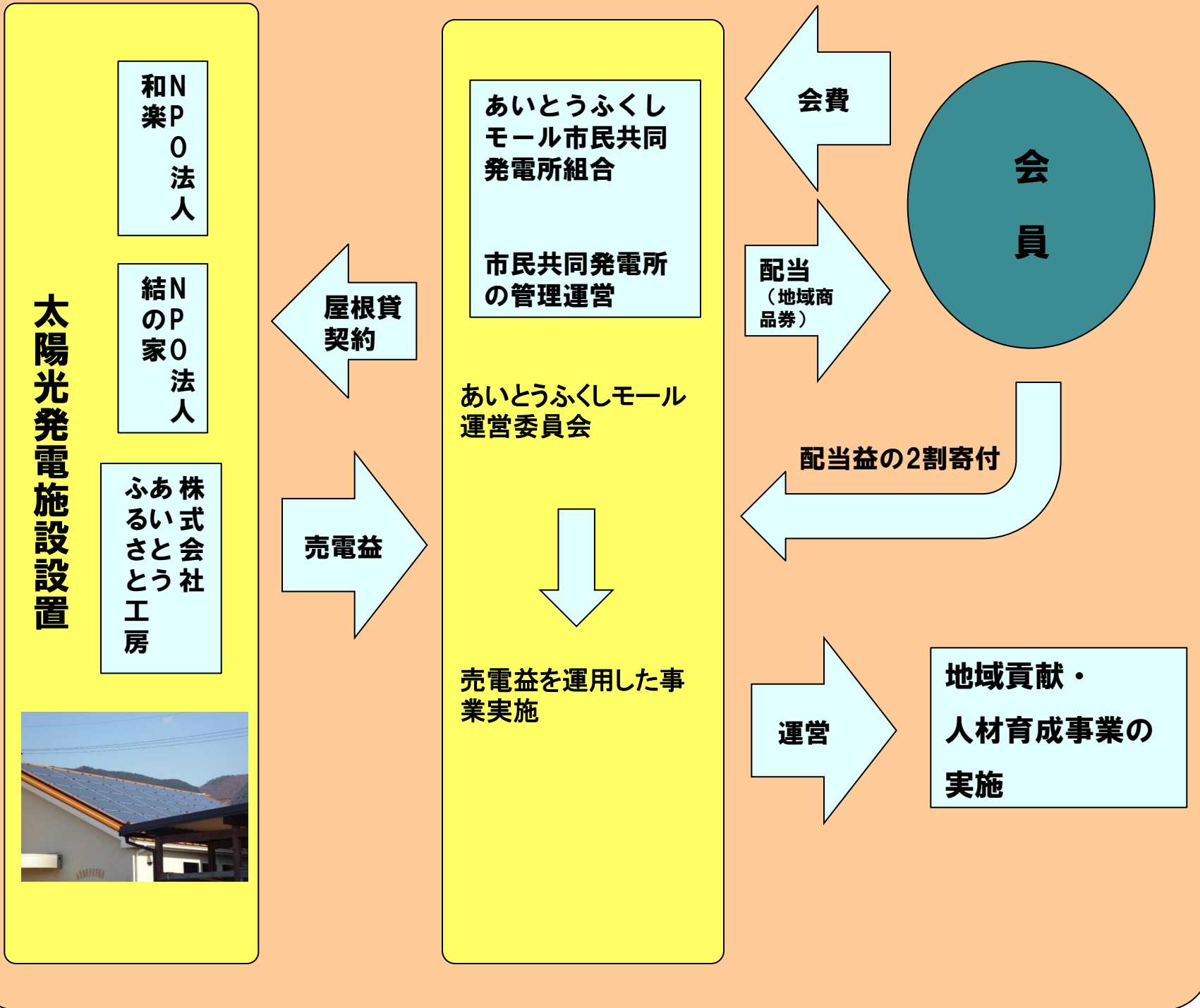
支払い

食事の提供

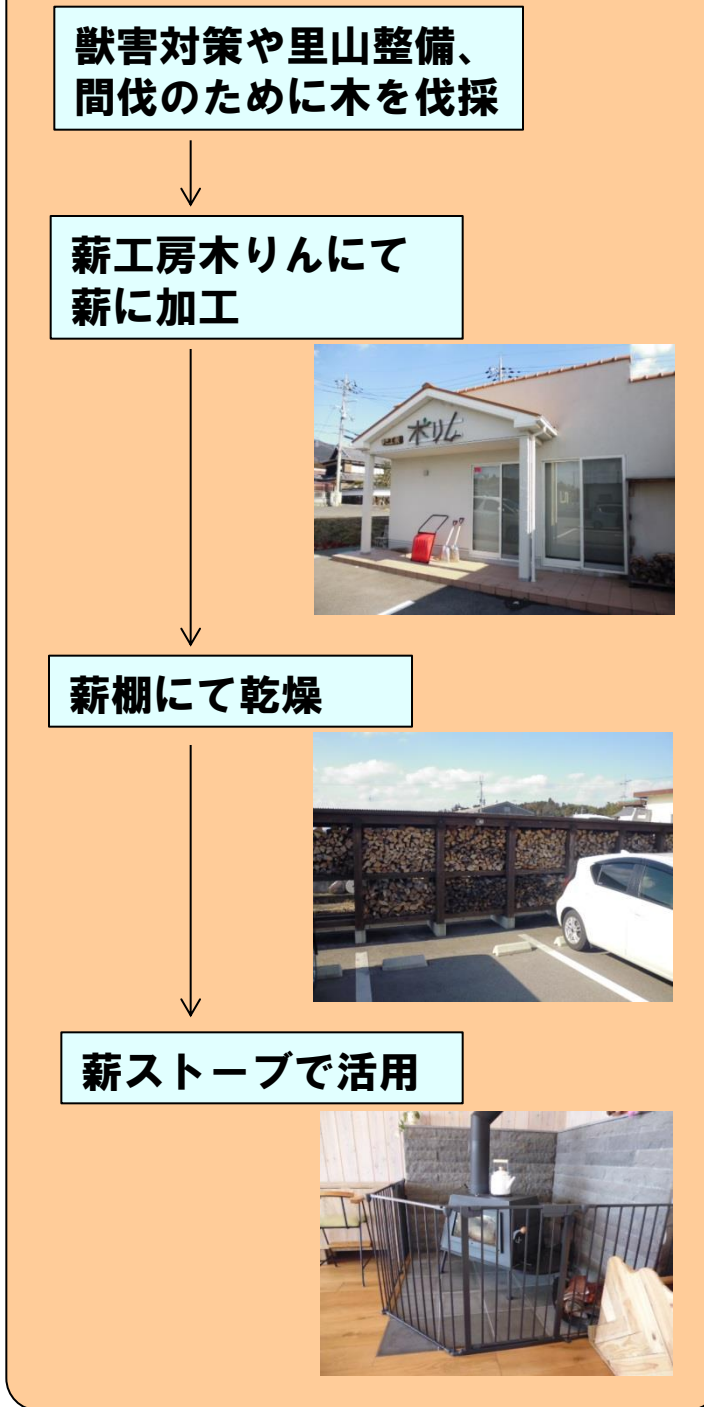
事業の特徴・ポイント

・様々な機能をもつ事業所が1箇所に集まることで、「食」「ケア」「エネルギー」など他分野にわたる連携や人のつながりができ、地域の暮らしに関わる課題を解決するモールを形成。

あいとうふくしモール市民共同発電所の仕組み



薪ストーブの活用



©あいとうふくしモールについては、<http://fukushi-mall.com/>

産業経済研究員からの一言

比較的短期間で多分野連携による事業を実現できた要因として、強力なリーダーシップ、共感を生む理念、それぞれが得意分野で力を出し合う仕組みがあげられる。加えて、滋賀県は1977年の「せっけん運動」を源流とする「菜の花プロジェクト」で、持続可能な地域づくりに対する住民の意識が高いことが背景にあると思われる。

事業の継続性を保つためには、財政の自立性と人材の確保育成が不可欠である。そのためには、収益事業とボランティア的的事业をバランスよく実施していく必要があり、本事例では 全体で均衡の取れた状態が維持できているといえるのではないかと。そこが多分野連携の強みでもある。